第５５回　廃棄物対策専門委員会　議事要旨

日時：2025 年 12 月 9 日（火）14：00～17：30
場所：オンライン開催

1．固体廃棄物の処理・処分に関する研究開発の進捗状況について
　NDF 事務局から、「性状把握」、「保管・管理」および「処理技術（その 1）」についての固体廃棄物の処理・処分に関する研究開発の進捗状況を説明した。

　専門委員からの主な意見は以下のとおり。

○ DQO プロセスを用いて分析計画法を検討する際には、特定の考え方に囚われずに幅広い視野で分析・解析結果を評価した上で、目標設定やインプット情報の収集を行い、適切な分析計画が立案されるよう留意する必要がある。

○ 通常の原子力発電所から発生するクリアランス対象の金属廃棄物とは核種組成が異なることもあり、どのように再利用するかとセットでクリアランス検認方法を検討していく必要がある。

○ AAM を用いた模擬炭酸塩スラリー含有均一固化体に対する鉱物相変質試験の結果から、ゼオライト系の結晶相の生成が確認されているので、今後の検討では核種の吸着性能や拡散性能の変化もあわせて確認して欲しい。

○ 処理技術については、今後の固化処理方式の選定につながる判断材料や対策を意識して検討を進めて欲しい。

2．その他
　次回廃棄物対策専門委員会について。

以　上